

アレルギー性鼻炎に 対する舌下免疫療法

盛岡市医師会 千葉 隆史



1 アレルギー性鼻炎とは？

アレルギー性鼻炎はくしゃみ、鼻水、鼻づまりなどがアレルギー反応によって起こる病気です。この病気の代表には杉の木の花粉が原因でおこるスギ花粉症やダニによっておこるダニアレルギー性鼻炎があります。

日本のスギ花粉症は1964年に栃木県の日光で初めて見つかった病気ですが、その後この病気に罹る人が急激に増え続けています。環境省の統計では1988年には日本人の16.2%がこの病気に罹っていましたが、2008年には23.4%となっています。ダニが原因で起こるアレルギー性鼻炎と合わせた人の割合は39.4%で、日本国民の約4割がアレルギー性鼻炎に罹っています。またアレルギー性鼻炎になる人の低年齢化が進み、小学生でアレルギー性鼻炎に罹っている児童の割合は2012年に約30%になっています。これは同じ様なアレルギー反応が原因で起こる気管支喘息やアトピー性皮膚炎と比べて増加の仕方が特に多くなっています。しかもアレルギー性鼻炎は自然寛解(病気が自然に治ること)が少ないことが特徴です。

2 アレルギー性鼻炎の治療

治療の基本はスギ花粉症ではスギの花粉を避けること、ダニアレルギーでは掃除などによりほこりやダニを減らすことです。それでも症状が出てしまうようであれば薬を使います。最新の薬は眠気のほとんどない薬、食事時間などに関係なく1日のうちいつ飲んでもよい薬、効果の特に強い薬などそれぞれに長所があり、各人の病気の重症度やライフスタイルに合わせた選択ができます。また飲み薬以外にも鼻に噴霧するスプレータイプの薬や皮膚に貼るタイプの薬もあります。しかしこれらのアレルギー性鼻炎薬での治療は症状を抑えたり軽くするための治療(対症療法といいます)です。小さいうちに罹ってしまった患者さんは数十年にわたってこの対症治療が必要になる場合も多くあります。



一方、このアレルギー体質自体を治す、または長期間に渡り症状を軽くする事を目的とする治療方法(原因療法といいます)にアレルギー免疫療法(減感作療法)があります。

3 アレルゲン免疫療法について

アレルゲン免疫療法は、スギ花粉やダニなどアレルギーの原因となる物質(アレルゲン)を少量から投与することで体をアレルゲンに慣らし、アレルギーを治す事を目指す治療法です。3年以上続けて治療した場合にはアレルギーがなくなったり、長い年月わたり症状をおさえることができる可能性があります。また完全におさえられない場合でも症状を和らげ薬の使用量を減らすことが期待できます。この治療は欧米では広く行われておりその効果も証明されています。

